





人口の動きによる都市の発展性は、出入人口を地区的に考察し、近郊農村、隣接都市との人口を交流させることが肝要であるといわれている。

戦後、東京の衛生都市は急速に遠隔化して来ているが、近郊農村に住宅問題により遠距離通勤者は定常化

★人の流れは 都内へ★

昨年都市へ転入して来た者の総数は、千六百十二人であるが、これを地域別にみると、東京都三百七十八人、神奈川県五十三人、千葉県五十三人、新潟県三十五人の順になる。

転入の場合には東京都四百九十三人、千葉県九十五人、神奈川県八十五人、新潟県二十四人の順で、遠隔地との人口交流は新潟のように入居者の住来によるもの外は、個々の事情によるものと思われる。

福島県入居者は、女子の人口が特に多く、四月の一月でその殆んどが占められているのは、中学校を卒業したばかりの女子である。隣接の各県間の交流の激しいのは当市ばかりに

社会的異動による都市性

し、交通の発達により更に拍車をかけられて現状のようである。都市に出入する定常的な人口の動きは、どうであろうか。これを地域的に捉え都市性の程度を考察してみよう。

まず、近県中小都市は同一歩調らしい。東京都への転入は各月大体平均しているものの四月が幾分多いのは、学窓を巣立つ者の都への憧れの表

象かも知れない。県内間人口異動差は転入が九十八人多く、これらは東茨城、新治の両郡からの流入が多く結局は腰掛的で一時当市に入つても都へ進出する隙を伺っている者が多いらしい。

★交通機関の利用者★

交通機関利用による人の動きをみるに、常磐線及び鹿島参宮線各駅の定期乗車券の利用者数を調べてみた。当駅に降車する通勤者は、上り方面が六十一%下り方面が三十九%の割合で、次のとおりである。

| 上り方面 61% |     | 下り方面 39% |     |
|----------|-----|----------|-----|
| 駅名       | 人員比 | 人員比      | 人員比 |
| 水戸       | 92  | 14       | 3   |
| 友部       | 14  | 3        | 19  |
| 岩間       | 50  | 10       | 7   |
| 羽鳥       | 32  | 7        | 2   |
| 参宮線      | 12  | 2        | 4   |
| 高浜       | 20  | 4        | 2   |
| 神立       | 12  | 2        | 4   |
| 土浦       | 254 | 52       | 2   |

| 上り方面 72% |     |
|----------|-----|
| 駅名       | 人員比 |
| 高浜       | 80  |
| 神立       | 13  |
| 土浦       | 244 |
| 荒川沖      | 44  |
| 我孫子      | 1   |
| 都内       | 417 |
| 人員比      | 38  |

| 下り方面 28% |     |
|----------|-----|
| 駅名       | 人員比 |
| 水戸以北     | 41  |
| 水戸       | 126 |
| 赤塚       | 6   |
| 内原       | 3   |
| 友部       | 22  |
| 岩間       | 38  |
| 羽鳥       | 45  |
| 参宮線      | 26  |
| 人員比      | 2   |

平和橋の改修さまる

県では市内中津川地先の恋瀬川平和橋の補強工事(工費四十四万八千円)を行つた。目下利用度の多い農繁期にあるので本月二十日から

翌月九日まで工事を中止し、同十日から着工の予定。なお、工事中も仮橋を作り歩行は可能の由。

けんらんを競う 菊花四百点

総社宮菊花大会奉賛会会長山口誠太郎氏は来る十月二十五日から向う一ヶ月総社宮境内で菊花大会を開くことになった。

発足は来月か 福祉協議会

数回の会合を重ねた市社会福祉協議会結成準備会は、去る十九日最終的な検討を終え、近づく結成の運びとなった。

長二、理事二〇、幹事二、を予定しているが、民生委員、保護司、社会事業家、医師、婦人会、宗教家等の中から適任者を選考中である。

★都市性格の価値★

ここで石岡駅と密接な関係にあるのが、都内、下り、土浦、水戸という順になり、上り、下りの通勤者のバランスをとると人口の流動は常に南に向つて流出しているといふことが解る。

これらの結果を総合すると、転入人口をみた場合東京都への転入者が断然多く、また通勤者の三五%までが都内勤務者である。ところが、地方中心都市というよりも、都衛星都市的なウエイトが附加されていっているといふ。

◇小島たちより◇ 小中学生の皆さん

市小中学校の皆さん、おはようございます。この夏休みには、小島のために百二十枚もの下書きを、ほんとうに有難うございました。

石中一 磯部美明さん  
石中二 鈴木善安さん  
石中三 高野毅さん  
石中四 小沼英夫さん  
石中五 久米健夫さん  
石中六 小島健夫さん  
石中七 小島健夫さん  
石中八 小島健夫さん  
石中九 小島健夫さん  
石中一〇 小島健夫さん  
石中一一 小島健夫さん  
石中一二 小島健夫さん  
石中一三 小島健夫さん  
石中一四 小島健夫さん  
石中一五 小島健夫さん  
石中一六 小島健夫さん  
石中一七 小島健夫さん  
石中一八 小島健夫さん  
石中一九 小島健夫さん  
石中二〇 小島健夫さん

石中二一 小島健夫さん  
石中二二 小島健夫さん  
石中二三 小島健夫さん  
石中二四 小島健夫さん  
石中二五 小島健夫さん  
石中二六 小島健夫さん  
石中二七 小島健夫さん  
石中二八 小島健夫さん  
石中二九 小島健夫さん  
石中三〇 小島健夫さん  
石中三一 小島健夫さん  
石中三二 小島健夫さん  
石中三三 小島健夫さん  
石中三四 小島健夫さん  
石中三五 小島健夫さん  
石中三六 小島健夫さん  
石中三七 小島健夫さん  
石中三八 小島健夫さん  
石中三九 小島健夫さん  
石中四〇 小島健夫さん

新生活ここにあり ふたをあけた 公民館 結婚



新婦にお酌し、夫婦たること。新婦は新郎、新婦、親戚友人の紹介を終え、私共二人はここに結婚式を挙げます。

新婦は新郎の旅など計画して

あわただしくにぎやかだった昨日の結婚式も、一夜明けると今朝の二人きりの静けさの中でふり返れば、いかに夢のひとコマだったような気がする。

私たちが日常生活に改善すべき点の多いのは誰でも知っています。隣近所が心を合わせて生活の向上と合理化に努めなければならぬ。結婚式は、結婚の儀式として、結婚の準備として、結婚の行われるよう皆

新婦にお酌し、夫婦たること。新婦は新郎、新婦、親戚友人の紹介を終え、私共二人はここに結婚式を挙げます。

新婦にお酌し、夫婦たること。新婦は新郎、新婦、親戚友人の紹介を終え、私共二人はここに結婚式を挙げます。

新婦にお酌し、夫婦たること。新婦は新郎、新婦、親戚友人の紹介を終え、私共二人はここに結婚式を挙げます。

新婦にお酌し、夫婦たること。新婦は新郎、新婦、親戚友人の紹介を終え、私共二人はここに結婚式を挙げます。